

2021 年 九州の山巡記(07/25～08/08)

記 佐藤 俊明

ここ数年、北海道(2018 夏)・東北北西部(2019 夏)、東北東南部(2020 夏)、四国(2020 秋)と纏った山巡りを続けてきた、今年も長引く流行病禍の中、社会的誹りの気配を感じながらも、結局はその緩急の狭間を突いて決行した、緩まるを機に出発したものの、結果的には、またもや隆盛するわが町に帰還となった。

今回は、陸路、約 850 kmと海路、約 1220 kmを合わせ機動移動約 2300 km、そして山道を歩く事約 80 km、都合 15 日間移動したことになる。

先ず、印象的だったのは暑さの下、時間を要する計画を展開したことだった、季節と地域の設定を誤ったと悔やむも、同時期のニュースによれば、全国的に記録的な暑さの報に、暑いのは彼の地ばかりではなかったようだ。

そんな暑さの中、どの山も頂きに立ったとき覚える清々しさは、そんなこともすっかり忘れさせてくれる瞬間だった。

まさしく、日本百名山著者曰く『百の頂に百の喜びあり』今回も、又、それを思い起こさせる山旅となった。

海・陸移動

7 月 25 日(日) 南港(大阪)17:00 発➡志布志港(鹿児島)向け出航 船中泊



7 月 26 日(月) ➡08:55 着志布志港 540 km

志布志港発 09:10➡仙窟園 2.0 h 95 km

仙窟園立ち寄り、反射炉跡等且つての工場跡、集成館、御殿、見事に調和された庭園の彼方には錦江湾に浮かぶ桜島。

往事の繁栄を偲びつつ、裏山に続く登山道から錦江湾に浮かぶ桜島を仰ぎながら、観水舎、集仙台を訪ねた

2.5h 約1.1kmメートル

庭園越しの桜島



観水舎から仰ぐ桜島



車移動：仙窟園⇒天文館 0.3h 5km 鹿児島市内泊

7月27日(火) 08:30 発鹿児島南埠頭(折田汽船) ➡ 12:30 宮之浦港(屋久島) 4.5h 140km
フェリー乗り場では、山口県から屋久島縦走(私達と逆コース)のご夫婦に出会い
お互いの安全と検討を祈る



バス：宮之浦港 12:51 発→13:25 着合庁前(乗換)810円/1名
合庁前 13:30 発→14:37 紀元杉バス停着 990円/1名

☆屋久島

7月27日 屋久島1日目

紀元杉 15:20→16:30 淀川小屋(1泊) 1.5h 1.2km

路線バスを乗り継ぎ、終点の紀元杉へ、バス停は紀元杉を行き過ぎたところにあるのだが、「100m程歩いて戻れば紀元杉ですよ」などとの案内は一切ない、人柄なのか、島の風潮なのか・・・

今宵の宿は、淀川小屋に幕営予定も、着いてみれば、千葉からという夫婦一組と単独男性、そして私たち夫婦、後から逆コースで到着の単独男性(テント設営)のみ、私達も幕営を止して小屋に泊めてもらう



7月28日 屋久島2日目

04:00 淀川小屋→花之江河→黒味岳分岐→07:00 黒味岳 07:20→黒味岳分岐 →投石岩屋→栗生岳→
10:30 宮之浦岳 11:00→焼野三叉路→12:00 永田岳 12:30 →焼野三叉路→14:10 平石→15:20 新
高塚小屋→16:40 高塚小屋→16:50 縄文杉→17:00 高塚小屋 (1泊) 12.5h 16km

予定より、出発を早めたところ、もう一組の夫婦、単独男性もほぼ同時刻のスタートとなる、黒味岳には分岐にザックをデポして往復する

地形図に豆腐岩と書かれている、真横に来てみて「なーるほど」まるで豆腐を包丁で切ったようだ

展望台から日の出



トーフ岩(高盤岳)



分岐にザックをデポして黒味岳ピストンは所どころ補助ロープに助けられながら登降する
黒味岳から見る、左奥から永田岳、宮之浦岳、翁岳、安房岳



宮之浦岳 一面に広がる青空
眼下西には口永良部島、東に種子島、そして北には開聞岳も



アプローチが暑く長い？永田岳



縄文杉



アプローチが暑いあつい永田岳も日傘と水持参の空身でピストン、長丁場とはなったが、予定通り高塚小屋へ明るい内に縄文杉をと更に 10 分程降り小屋に折り返す、小屋には先客 6 名、空いている 3 階に寝させてもらう

7 月 29 日 屋久島 3 日目

02:20 高塚小屋→縄文杉→03:00 大王杉 03:10→04:00 ウイルソン株→05:30 大株歩道入口→06:40 楠川分れ→07:40 辻峠 07:50→08:10 白谷山荘 08:30→09:30 白谷雲水峡

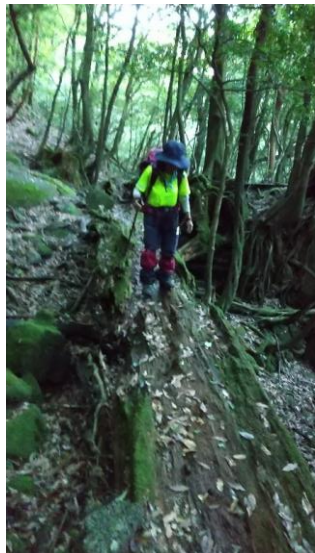
7.5h 9.5km

10 時 50 分のバスに乗れば、当日フェリーに乗ることが出来る、前日の縄文杉観察はその膳立てもあった

起床即スタート、2 時間後まだ闇のウイルソン株でコーヒーとパンで朝食、



今日の長い道程をひたすら歩く、



楠川別れから登り返すこと1時間、やがて太鼓岩巡りの分岐点ともなる辻峠に。

ここまでで白谷川に折り返すハイカーグループがガイドに案内され続々登ってくる、しばらく降り、行き違いのグループに道を譲る為、山側による私達に、グループに付き添いのガイドが「どうぞ先に来てください」と、此方も「いえいえ、どうぞお先に」と美しく譲り合う、「あの、そこで写真を撮りたいんです」とは、相手側のガイド、私達が通り過ぎると、「ここが、もののけ姫に出てくる苔の森です」さあ記念写真を・・・。

大株歩道入口



もののけ姫の苔



白谷雲水峡入口



白谷雲水溪バス停（9：25am）余裕で到着

バス：白谷雲水峡 10：50⇒11：20 宮之浦港 560 円/1 名

フリー乗り場前食堂でトビウオから揚げ定食を頂く

海路：屋久島宮之浦港発 13:30→鹿児島南埠頭着 17:40 4,700 円/1 名 140 km

陸路移動：南ふ頭旅客ターミナル(鹿児島市本港新町)→天文館(鹿児島マイステイス) 1.2 km

7 月 30 日(金)

車移動：04:00 発 天文館 ⇒かいもん山麓ふれあい公園 1.25 h 60 km

☆開聞岳

かいもん山麓ふれあい公園 5:30→五合目→七合目→07:45 仙人洞→08:20

開聞岳 09:10→09:45 仙人洞→五合目→11:00 かいもん山麓ふれあい公園 1.7 h 8km

さすがにこの暑さで平地の幕営は思いやられる、前夜山麓公園幕営予定を急遽鹿児島市内ホテル泊に変更、早朝の出発でタイムロスを埋める

道中、池田湖畔から薩摩富士(湖面には逆さ開聞岳) 枕崎方面に伸びる海岸線と池田湖、菜の花マラソンを思い出すとは連れ合いのことば

1000mに満たない山とはいえほぼ平地からの登りとなる、大方灌木帯の登りとなるため直射日光にあたることは少ないが景色が見渡せるところも少ない、所々から瀬平の海岸線や池田湖が垣間見える、さすがに頂上は八方遮るものなく放たれ大隅半島、眼の下には池田湖、太平洋、東シナ海、そして昨日まで歩いた屋久島と絶好のロケーションが広がる



開聞岳頂き



屋久島が見えている



しかしまあなんという暑さだ、アンダーウェアまでぐっしょりで下山、たまたま、
素晴らしい眺めではあったがとにかく暑かった
下山後たまたま、ふれあい公園管理棟でシャワーを浴びる

車移動：かいもん山麓ふれあい公園⇒天文館 1.3 h 60 km

7月31日(土)

車移動：天文館 03:30⇒05:30 えびの高原駐車場 2.0 h 70 km

☆韓国岳&☆高千穂峰

今日も早朝の宿舎出発、ロードナビ設定の誤りで韓国岳登山口のえびの高原へ向かっているこ
と

に気付くも、戻るとロスが大きくなることから順番を変えることに。

山行P I 韓国岳登山口 06:00→06:45 硫黄山火口展望所→五合目→0820 韓国岳→09:20
大浪池避難小屋 15:→つつじヶ丘登山口 10:20→えびの高原→10:30 韓国岳登山口
1.7 h 6.2 km





硫黄岳の噴煙を見ながら、あっけなく韓国岳頂上にたどり着く、目の前には噴煙を上げる新燃岳、その彼方に高千穂峰がそびえているのを眺めながら、眼下の大浪池へ延々と続く木板の階段を降り、大浪池からは湖畔からつつじが丘を経てえびの高原へと単調な歩行が続く

車移動 高千穂河原⇒えびの高原駐車場 0:20 13 km

先に行くはずだった、高千穂河原に改めて向かう

いよいよ天孫降臨の峰に、先ずは霧島古宮跡に安全登山祈願をして溶岩で埋められ踏み跡の判然としないところを登る、足下が崩れ歩きにくい

やがて爆裂火口のお鉢を時計回りに 1/3 周したところを少し下ったところの霧島神宮元宮に

改めてお詣り、最後のザレのジグザグを詰めると逆鉾建つ天孫降臨の地、高千穂峰にたどり着いた

山行 P II 高千穂河原 11:30→12:50 御鉢 13:10→14:10 高千穂峰 14:20→15:30 御鉢→15:00

高千穂河原登山口

3.5 h 5km



車移動：えびの高原駐車場 15:00⇒15:45 新湯温泉(鹿児島県霧島市牧園町高千穂) 16:35

新湯温泉は硫黄温泉、かけ流し乳白色の湯でひなびた感たっぷり、備え付けの石鹸、シャンプーはあるが、蛇口もシャワーもなく、身体を洗うには、洗面器を使って浴槽の湯を汲むしか方法はない、露店は混浴とのことで行って見たが入浴者は自分ひとりだけだった。

温泉から上がり再び車移動し始めた途端前も見えないくらいの土砂降りが 30 分程続いた

⇒18:20 道の駅 錦(熊本県球磨郡錦町一武) 3.3h 60 km 雷雨、車中泊

8月1日(日) 車移動: 道の駅 錦 5:00⇒6:30 市房山キャンプ場駐車場、 1.0h 30 km

昨夜来の降雨が続く、暑さと雨、たまった疲れ、ところにより午後雷雨予報に、登る意欲が削がれる「今日は止めようか」に「そうね、休養も必要かもね」・・

止めてどうする・・代替案が浮かばない

結局、兎に角、登山口迄行ってみようか=結局、登るんだな

山行 市房山

登山口付近の道路が「工事中の為立入禁止」や「通行止め柵」があり、雨具を着て何度も

行ったり来たり、ようやく立入禁止の奥に登山口を見つけ取付くも、雨具着用の蒸し暑さに 30 分程でギブアップ、雨具を脱いで傘一本で歩く、もう迷いはない、よほどのこと

がない限り登ろう



市房山キャンプ場 06:40→市房山登山口→08:00 市房神社→六合目→11:00 市房山
11:20→六合目→13:00 市房神社→14:00 市房山登山口 8.0h 7 km

4 合目 避難小屋にもなっている市房神社



写真はないが、5合目から7合目まで大岩、切れ落ち(馬の背)、鎖、ロープの連続・・・
これって一般道？7合目を過ぎてようやくホット、しかしその後が結構長くて・・・
予報に反して、少しずつ雲も切れ、雨に洗われた馬酔木の新芽も鮮やか



頂上には、こんな標識も



車移動：市房キャンプ場 15:00→17:30 水前寺コンフォートホテル 2.5 h 120 km

8月2日(月) 熊本市内観光

水前寺コンフォートホテル⇄(徒歩)水前寺公園 0.2 h 0.4 km

水前寺公園で抹茶を頂く



水前寺コンフォートホテル⇒熊本城 0.2h 3 km

熊本県独自蔓延防止措置発出に付き、本日より熊本城入場不可「Oh my God」



トレッキングシューズ購入 シェルパ（熊本市中央区新屋敷1丁目14-30）

熊本市内宿泊：ジールホテル（熊本市中央区新屋敷1丁目14-30）

8月3日（火） 車移動：ジールホテル4：00⇒5：30 仙酔峡ロープウェイ跡 1.5h 50 km

中岳・高岳（阿蘇山）

仙酔峡登山口 5:30⇒7:25 火口東展望所⇒8:00 中岳⇒8:40 高岳 9:00⇒高岳火口壁⇒

11:00 仙酔峡登山口 5.5h 6 km

高度成長期頃から海外旅行にはまだ手が届かない多くの日本人がここを訪れた、その一人だった私。

今は、お化け屋敷のようになった旧ロープウェイ駅舎だがそれを知っているものとしては懐かしい場所だろう

仙酔峡ロープウェイ跡⇒火口東⇒中岳⇒高岳のイージーコースに比して、降りに選んだ高岳から仙酔峡への降りは奥穂高岳ザイテングラードに匹敵するくらいの、いやはや





仙酔峡登山口⇒牧ノ戸峠駐車場 1.0 h 40km 車中泊

8月4日(水)

久住山

牧ノ戸峠 4:00→第一展望所→5:15 沓掛山→扇ヶ鼻分岐→7:35 星生山 7:55→8:40

久住分かれ 8:50→9:20 久住山 9:40→10:45 池の小屋 10:25→10:50 中岳 11:20→11:40

久住分かれ 11:50→扇ヶ鼻分岐→13:00 扇ヶ鼻 13:10→14:15 沓掛山→第一展望所→14:40

牧ノ戸峠 10.0 h 11 km

ミヤマキリシマならぬ山一面に咲き誇るノリウツギ



「ミヤマキリシマの一番きれいなところは扇ヶ鼻」とは、出会った登山者のおじさん方



牧ノ戸峠⇒尾平鉦山 2.0h 70km 車中泊

8月5日(木)

九州山巡り最終計画、今日もヘッドランプで出発、踏み跡も判然としない宮原尾根、樹林帯の中に長い登りが続く、ようやく主稜線障子岩尾根に飛び出し、傾斜は緩むも祖母山の荒々しい山容が見えるようになる、九合目避難小屋を超え、先客の話し声がする頂上に飛び出す、一昨日、昨日と歩いた阿蘇、久住の山々が見える、私たちの反対側から登ってきたという先客にこの白い花の名前はと問われる、ノリウツギだと思っんですが。と答えシャッターをお願いする。

下山ルートに選んだ黒金山尾根はピークからいきなり岩場を降ることになる、梯子、ロープのお助けはあるものの緊張を強いられる岩場が天狗岩下方まで長い、やがて長い黒鉄山尾根が終わると渡渉4カ所、なるほどガイドブック通り増水時にはとても渡れない、ようやく登りの宮原ルートに合流すると長かった周回コースもゴールはすぐだった。

尾平登山口 4:20→宮原コース入口→尾根取付 4:50→7:50 宮原 8:10→馬ノ背→
メンノツラ分岐→9:30 祖母山九合目小屋 9:50→10:40 祖母山 11:00→12:10 天狗岩 12:30
→14:10 黒金山尾根取付→14:10 うるしわ谷出合→14:40 宮原コース入口→14:50 尾平登山口
10.5h 10km

主稜線に出ると荒々しい祖母山の全容が見える



昨日歩いた久住山方面



ピークを越えると岩場の連続



登山口から振り仰ぐ祖母山



車移動：尾平鉦山⇒別府港(フェリー予約変更手続き)⇒別府駅前 別府ホテル 2.0h 85km

8月6日(金)

車移動：別府駅前 別府ホテル⇒土産調達(別府交通センター 別府港)⇒志高湖
1.0h 20km

思えば今回15日間の山巡りで初めての幕営となった
九州山巡り打ち上げは、由布岳、鶴見岳を眺めながらゆったりとキャンプ生活



8月7日(土)

車移動：志高湖キャンプ場⇒グローバルタワー観光⇒温泉入浴(ひょうたんの湯)別府駅前⇒
別府港フェリーターミナル

1.0h 25km

別府フェリーターミナル19:35発 ➡南港(大阪) 向け出航

8月8日(日) ➡南港サンフラワーフェリーターミナル7:35着 (別府港➡南港 400km)

車移動：南港⇒自宅 0.5h 15km